

2014-B					
拠出金・基金の名称		TICADプロセス推進支援拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国連開発計画					
【所管官庁担当局課・室名】外務省 アフリカ部 アフリカ第二課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 TICADプロセスは我が国の対アフリカ外交の基軸であり、1993年の「第1回アフリカ開発会議（TICAD）」以来、同会議を定期的に行い、アフリカにおける開発問題に継続的に取り組んでいる。本拠出金ではUNDPがアフリカの開発分野において有する豊富なノウハウを活用し、TICADの重点項目を取り入れた技術協力やワークショップ及びTICADプロセスが重視するアフリカ地域機関との協力強化やその能力強化に資するセミナーを実施しているほか、TICADの効果的広報にも活用している。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成26年度	86,358	890,288	-	1(通貨) = 97円	100
平成25年度	73,764	899,561	-	1(通貨) = 89円	100
平成24年度	69,395	856,728	-	1(通貨) = 81円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 我が国は同拠出金を通じて、TICAD共催者としてのUNDPの積極的関与を確保しながら、アフリカへの支援を着実に推進しており、我が国のイニシアティブ及び具体的取組はアフリカ諸国をはじめ国際社会に高く評価されている。UNDPは全てのアフリカ諸国に事務所を有しており、他の機関にはない強力な域内ネットワークを活用し、充実した実施体制を整えていることから、本拠出金を通じた協力の意義は大きい。また、同機関はTICAD関連会合開催においてもアフリカ諸国との調整やNGOの参加調整等にも積極的に関与しており、本拠出金を通じて、TICADプロセスの効果的・効率的な運営を可能としており、広報・普及活動を通じて、TICADプロセスの推進を確実なものとしている。					